

より早く、よりの確に内容をとらえるために、Question と Keyword による Index をご利用ください。それぞれ各論文の要点を示す質問とキーワードで構成されています。

Question

Q1	CT と MRI の使い分けは？	854
Q2	分子標的薬はどういった薬剤なのでしょう？	858
Q3	抗がん剤治療中の患者が発熱を主訴に外来受診をした場合のアプローチは？	864
Q4	胃がん予防としてヘリコバクター・ピロリ菌の除菌療法は行うべきですか？	868
Q5	肺がんの分子標的治療薬とは？	873
Q6	わが国における乳がん検診の対象と方法は？	878
Q7	インターフェロン治療は外来でも施行できますか？	884
Q8	大腸がんで Stage IV でも手術をするのはなぜ？	889
Q9	子宮がんの発がん過程における HPV の役割は？	894
Q10	前立腺がんの特徴は何ですか？	900

Keyword

C 型・B 型肝炎ウイルス	884	家族性乳がん	878	センチネルリンパ節生検	878
CT と MRI の使い分け	854	肝炎患者の発がんリスク	884	造影剤	854
EGFR	873	肝がんスクリーニング法の		チロシンキナーゼ阻害薬	858
FDG-PET	873	感度と特異度	884	デジタルマンモグラフィ	878
HPV	894	肝がんの治療法	884	内視鏡検査	868
IMRT	900	がん診断	854	内視鏡的粘膜下層剥離術	868
Oncologic Emergency	864	喫煙	873	乳房温存療法	878
p53	894	経過観察中の抗がん剤治療		発熱性好中球減少症	864
PSA	900	患者	864	分解能	854
Rb	894	血管新生阻害薬	858	分子標的治療	873
S-1	868	殺細胞性抗がん剤	858	分子標的薬	858
胃切除術	868	脂肪摂取	900	ヘリコバクター・	
維持療法	873	終末期	864	ピロリ菌	868
インターフェロン治療	884	手術適応	889	マンモグラフィ検診	878
ウイルス発がん	894	小線源療法	900		